

(様式1)

## 自己評価票

作成日 平成29年5月15日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870500246		
法人名	社会福祉法人 聖隷会		
事業所名	グループホーム センチュリーの里	ユニット名	らん
所在地	〒315-0048 石岡市三村6284-7		
自己評価作成日	平成28年12月31日	評価結果 市町村受理日	平成29年5月25日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0870500246-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0870500246-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成29年2月15日	評価機関 決 済 日	平成29年5月15日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

山や畑に囲まれた自然環境豊かな場所で、近隣である利用者・家族が昔話や世間話をしながら従来の生活を取り戻せるよう、そして毎日少しずつ体を動かし体力の維持向上が図れるように生活リハビリの中に体操や散歩も取り入れ、体力の低下予防に力を注いでいます。  
利用者から笑顔が絶えないよう努力し、職員は利用者一人ひとりの生活リズムを大切に利用者の思いを尊重したサービスを心掛けています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

管理者と職員は運営母体の5つのグループホーム共通の「人権の尊重・個別のケア・社会交流」の基本理念に基づきサービスに努めている。  
事業所独自の「目標」も管理者と職員で定め笑顔を絶やさず、サービスの質の向上に努めている。  
同じ敷地内に隣接している特別養護老人ホームと年間行事を合同で開催したり、特別養護老人ホームに定期的に来るボランティアによる踊りや和太鼓、腹話術、手品等も一緒に楽しんでいる。  
小学生、中学生、専門学校生の体験学習や実習も受け入れており、子どもと接する機会も多い。  
同敷地内に通所介護事業所と在宅介護事業所も隣接しており、特別養護老人ホームも含め適切な介護サービスが提供できるシステムとなっており、災害の際には協力体制が構築している外、運営推進会議に民生委員が3名参加、内一人は地元消防団に所属している等、利用者や家族等のみならず職員の安心にも繋がっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	リネンと目標をホーム内に掲示し実践を心掛けています。地域の一員として利用者個人を尊重した取り組みを行っています。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者が参加出来る地域の行事には積極的に参加しています。また特養と合同の敬老祝賀会や誕生会で交流を図るほか、地域の老人会の方を招待し交流を図ることに努めています。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	年3回広報誌を発行し、地域の方々に理解を深めてもらえるよう努めています。
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、運営推進会議を開催して参加者へ利用者の現況を報告しています。職員は参加者からの意見を聴き、サービス向上に努めています。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会費や地域密着連絡協議会、定例会参加等で市町村担当者との協力関係を築いています。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日常的に職員同士で話し合いを持ったり、委員会を設置し身体拘束をしないケアを確認し合っています。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日頃から話し合い、職員同士で意識の統一を図っています。身体的・精神的に虐待がないように心掛けています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修の機会がある時は積極的に参加し、学んだことの情報を職員間で共有できるようにしています。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には重要事項を説明し、了承を得てから契約しています。また制度改正がある場合は、事前説明の案内を行い、疑問点があれば質問を受け理解していただけるまで説明しています。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「ご意見箱」を設置し要望を聞いています。要望があれば迅速に対応し、職員間での話し合いを行い、運営への反映に努めています。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員間で意見や提案を出し合い、連絡ノートを活用して情報を共有しています。また毎月職員会議を開き、管理者との意見交換を行っています。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	一人ひとりが仕事にやりがいを持てるよう係りや担当決めを実践しています。また有給休暇の利用促進や退社時間の遵守を徹底しています。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人事務局と相談しながら、職員の段階に応じて研修参加の計画を立ててその機会を確保しています。研修後はその報告書を作成して回覧し、職員間で共有出来るように努めています。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域密着型連絡協議会への参加、同法人内他施設との合同勉強会への参加を通じてネットワーク形成に取り組んでいます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前調査を行い、利用者・家族の意見や不安事項を聞きだし、説明によって安心して生活が送れるように支援しています。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に施設見学をしていただき、不明点や要望を伺っています。また入所契約前、契約時にも家族と話し合う時間を設け、要望や希望がないかどうか聞くことに努めています。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者や家族の意見をサービス利用前に聞くことで、安心して利用してもらえるよう支援しています。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介助や援助をするだけでなく、本人の能力に応じて出来る範囲で簡単な家事に参加していただけるよう持ち掛け、生活を共にする家族という認識を持ち、信頼関係を築いています。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	受診時や一時帰宅等で交流の機会を作り、本人の状態等を連絡しています。家族からも出来る限りの協力をしていただき、職員と共に支えていく関係を築いています。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	デイサービスを利用されている知人に会いに行ったり、特養に入所されている友人に会いに行ったりとそれまでの繋がりを保てるように努めています。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が和やかに話が出来る様職員が間に入って手助けをしています。レクリエーション、散歩、体操を行いながら楽しく過ごせるよう努めています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院の為退所となってしまった方にもその後の様子を伺いに訪問したり、家族への連絡を取り経過を伺ったりしています。直接施設へ訪問してくれる家族もあり、相談や支援に努めています。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所後の本人の様子を観察し、対話や入所前の生活習慣から本人の意向や希望に添えるように努めています。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の情報や毎日生活を共にする中で新たな情報を得、その人らしい生活が出来る様支援しています。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	普段の様子や状態を観察したことを職員間で話し合ったり、ノートに記録し現状や変化の情報を共有し把握出来る様努めています。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者家族からそれぞれの思いを聞き取り、介護計画に活かしています。毎月モニタリングを実施しチームアセスメント、サービス担当者会議を行い、その人らしい生活が出来るよう計画を作成しています。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録を作成し、毎日の様子を記録しています。介護計画の見直しにも活かしています。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	急な受診の際、家族が対応出来ない時等、状況に応じた柔軟な対応を取っています。本人の現状を見極めて必要なサービスが提供出来るよう取り組んでいます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今まで利用者の方達と交流があった方々との関係が保てるよう、ボランティアや行事に参加しています。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望の医療機関、かかりつけ医に継続して受診出来るよう支援しています。何かあればすぐに医師に相談し対応して頂いています。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常に利用者の健康状態を観察し、変化がある時は併設の特養看護師に相談したり処置してもらったりしています。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時に相互の情報交換を行っています。また面会時や電話でも情報交換を行い、退院に関しての相談も行っています。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	施設側が出来る事を示し、理解していただいた上で家族と今後について話し合いをするように努めています。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	上級救命講習等、社内研修で定期的に講習を受け、実践力や知識を身に付けています。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、併設特養と合同で消防署指導の下、避難訓練を実施しています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに配慮し、利用者を傷付けないよう言葉を選びながら声掛けをしています。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常日頃から本人の思いや希望を聞いて自己決定が出来る様に支援しています。
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースを尊重し、思いのまま過ごしていただけるよう配慮しています。活動を行う際は参加されるかどうか確認するようにしています。
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	好みに合ったお洒落、身だしなみや季節に応じた服装が出来る様支援しています。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の方と一緒に食事メニューを考えるお楽しみ献立を毎月行い、食事を楽しむことが出来る様支援しています。
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士によるバランスの良い献立で摂取量や水分量を記録しています。
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入歯の洗浄や歯磨き等、個人に合わせた口腔ケアを自分で行い、それが出来ない方は職員が介助ケアの支援をしています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間に応じて声掛けを行い、自立に向けた支援を行っています。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人ひとりに合わせてお茶、コーヒー、清涼飲料等使い分けて水分摂取を促しています。体操や散歩で運動していただき、便秘の予防に取り組んでいます。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日入浴を行い、2日に1度は必ず入浴いただいているが、希望の時間帯が広く分散してしまうと完全には希望に添えていません。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣を把握し、安眠・休息が出来る様支援しています。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬を確認し、薬情書はファイリングしつつでも確認出来るようにしています。毎食事、職員が手渡しし、服薬の確認をして記録しています。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの性格を把握し、その方に合った役割を持たせられるよう支援しています。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候等を考慮しながら気分転換に出掛けられるようにしています。ホームで計画した外出の他、家族による外出等を支援しています。



自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	原則として持っていていただくに一時立て替えによる出納管理をしています。買物等の希望や必要なものがある際は家族の確認を取り対応としています。
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	本人の希望に応じて支援しています。
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	季節によって花や飾り付けに変化を持たせ、四季を感じて頂けるよう心掛けています。
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	居心地良く過ごせるように、利用者同士の相性をふまえて工夫しています。
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	使い慣れた家具や思い出の道具を持ち込んでいただき、本人が快適に過ごせるような工夫をしています。
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	床はバリアフリーとし、手摺に沿って歩行する際に障害がないよう工夫しています。また場所がわかるように案内の表示や標識や表札を掲示しています。

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない